

和歌山県名匠

日 野 常

職 歴

13才で大阪市西区北堀江 近安表具店に弟子入り。築山利喜松氏に師事したが大正2年独立、那智勝浦町で開業。

業績の概要

表具は大別して「襖」と「表装」とがある。襖は、現在息子にまかせ表装を手がけられている。

これまでの代表的な仕事としては、昭和30年那智大社社務所、大和天理教の本殿、地元の寺社などの襖を修復したほか、軸物では野呂介石、谷文晁、頼山陽、富岡鉄斎、池田桂仙、姫島竹外、田能村直入、渡瀬凌雲ほかの表装をてがけられている。

現在長男があとを継いでいるのでミニ般若心経の書写、表装を趣味とし2万号を突破、これが主な日課となっている。



表具師